

# 安全に避難するために

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

## 避難の心得



### 状況により、すばやく避難しましょう

市から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。



### 外出中の家族には連絡メモを残しましょう

「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



### 住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持ちましょう

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。



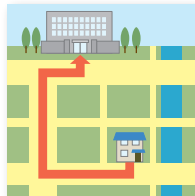
### 集団で助け合いましょう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



### 車での避難は早めにしましょう

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。浸水が始まっていたら、車での避難は避けましょう。



### 安全なルートで避難しましょう

川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



### 持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



### 避難場所では係の人の指示に従いましょう

避難場所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

## 河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。

堤防	基準水位	避難情報の種類等	河川名／基準観測所							
			木曽川		長良川	新境川	境川	大寺川		
			今渡	犬山	笠松	芥見	新那加橋	馬橋	鷺沼市駅	
	氾濫の発生	緊急安全確保								
	氾濫危険水位	避難指示	の目安	11.5	12.2	13.6	7.3	3.7	10.6	—
	避難判断水位	高齢者等避難	の目安	11.1	11.6	13.4	7.0	3.3	10.3	-1.6
	氾濫注意水位	水防団が出動する目安になる水位		5.5	9.2	10.4	5.0	2.8	10.2	—
	水防団待機水位	水防団が準備する目安になる水位		4.0	5.8	7.6	4.0	2.4	10.0	—
	ふだんの水位									

単位 (m)